

第11期（令和7年4月～令和8年3月）



まつもと子ども未来委員会 活動報告集



松本市

目次

I	はじめに	1
II	第11期まつもと子ども未来委員会実施要項	2
III	第11期まつもと子ども未来委員会委員	3
IV	委員会開催状況	4
V	委員会活動	
	第1回委員会	5
	第2回委員会	6
	第3回委員会	8
	第4回委員会	9
	第5回委員会	10
	市内見学	11
	第6回委員会	15
	第7回委員会	16
	第8回委員会	17
	第9回委員会	18
	第10回委員会	19
	市への提言	20
	第11回委員会	24
	第12回委員会	25
	第13回委員会	26
VII	資料	
	1 市への提言	28
	2 未来委員アンケート	40
	3 保護者アンケート	42

I はじめに

○ 松本市子どもの権利に関する条例 前文（一部抜粋）

わたしたちは、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

- 1 どの子どもいのちと健康が守られ、本来もっている生きる力を高めながら、社会の一員として成長できるまち
- 2 どの子ども愛され、大切に育まれ、認められ、家庭や学校、地域などで安心して生きることができるとできるまち
- 3 どの子ども松本の豊かな美しい自然と文化のなかで、のびのびと育つまち
- 4 どの子ども地域のつながりのなかで、遊び、学び、活動することができるまち
- 5 どの子ども自由に学び、そのための情報が得られ、支援が受けられ、自分の考えや意見を表現でき、尊重されるまち
- 6 どの子どもいろいろなことに挑戦し、たとえ失敗しても再挑戦できるまち

松本市子どもの権利に関する条例が施行されてから12年が経過しました。本市では、条例に基づき、子ども自身の育ちに関わる「子ども支援」にも力を入れて取り組んでいます。

その取り組みの一つが、まつもと子ども未来委員会です。未来委員会は、学校や地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなどの活動を通して、自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考える場となっています。このような取り組みは、子どもたちが自らの意見を表明し、それを受け止めてもらえることや、相手の意見に耳を傾け受け止められるようになることが、自己肯定感の向上や子どもの育ちにつながると考えています。

第11期のまつもと子ども未来委員会は、「We love 松本～楽しく過ごしやすい松本にしよう～」というテーマのもと、①打ち水～松本の水をもっと活用するために～、②自動運転バスの可能性、③室内公園1年中快適に遊びたい、④青少年の居場所についての4つのテーマで市への提言を行いました。その提言の一つ「打ち水～松本の水をもっと活用するために～」により、市立博物館に「湧き水・井戸水」の常設展ができました。自分たちの思いを伝えることができ、聞いて受け止めてくれる大人がいることは、本当に素晴らしいことです。

今期も大学生にサポーターとして参加していただき、子どもの意見表明が活発となり、未来委員会の活動が充実しました。サポーターの皆さん、ありがとうございました。

子どもの権利に関する取り組みは、なかなか他の自治体に広がっていないのが現状です。未来委員会のように子どもたちが力を発揮して成長する場が広がり、その場で活躍する子どもたちの力に大人が気付くことで、子どもの権利に関する取り組みが県内外にさらに広がっていくことを期待しています。

Ⅱ 第11期まつもと子ども未来委員会実施要項

1 趣旨

子どもの意見表明や参加の促進を図り、子どもにやさしいまちづくりを一層進めるため、まつもと子ども未来委員会を開催するもの

2 内容

子どもたちが、学校、地域、年代を越えて、市政や地域の課題について学び、解決に向けて意見交換をするなど、活動をとおして自分たちが住むまちへの意識を高め、松本のまちづくりを子どもたち自らが考える。

3 対象

松本市内在住、在学または市内で活動をしている小学5年生から高校3年生までの子ども（就労者、予備校生等を含む）

4 活動期間

令和7年4月～令和8年3月

5 主な事業

- (1) 委員会
- (2) 施設見学
- (3) 市への提言
- (4) 委員の興味・関心のある事業への参加、実施

6 参加者募集方法

- (1) 市内の小、中、高校へ募集チラシを配布
- (2) 市公式ホームページ、SNS、広報まつもと3月号に掲載

7 参加者募集期限

4月5日（日）まで

8 その他

- (1) 市内の大学、短期大学の学生を対象にサポーターを募集
- (2) 委員が自発的に活動できるよう、高校生の委員及びサポーターによる運営会を必要に応じて開催し、委員会の方向性等について協議

Ⅲ 第11期まつもと子ども未来委員会委員

1 総数 33人

2 内訳

学年		学校（人数）
小学生 12人	5年生 6人	芳川小学校(1)、二子小学校(2)、源池小学校(1) 信大附属松本小学校(1)、インターナショナルオブ長野小学校(1)
	6年生 6人	芳川小学校(1)、鎌田小学校(2)、寿小学校(1)、並柳小学校(1) 筑摩小学校(1)
中学生 10人	1年生 2人	清水中学校(1)、 サミットアカデミーセカンダリースクール長野中学校(1)
	2年生 5人	鉢盛中学校(1)、筑摩野中学校(1)、鎌田中学校(1)、 信大附属松本中学校(1)、山辺中学校(1)、
	3年生 3人	清水中学校(1)、菅野中学校(1)、丸の内中学校(1)
高校生 11人	1年生 4人	松本美須々ヶ丘高校(2)、松本深志高校(2)、
	2年生 4人	松本美須々ヶ丘高校(1)、松本県ヶ丘高校(1)、 松本深志高校(1)、松商学園高校(1)
	3年生 3人	松本美須々ヶ丘高校(1)松本国際高校(1)、エクセラン高校(1)

3 名簿

(50音順、◎委員長 ○副委員長)

属性	氏名
小学生	市川 楓、桑折 慶佑、小林 右京、佐竹 すみれ、杉山 ひまり、 武田 紘斗、西山 碧、橋本 莉央、林 なるみ、藤岡 由里香、 森本 愛莉、山口 蒼汰郎
中学生	荒井 結人、岩垂 修也、刈谷 初花、黒崎 遥、塩尻 恵子、 野澤 伊織、平形 藤子、藤崎 晋一郎、堀 大希、山田 明文
高校生	伊藤 琉珂、大沢 朱夏、沖本 悠真、鈴木 咲歩、関 瑛介、高山 正太、 藤岡 絢香、藤岡 香月、藤木 優馬、藤崎 悠理、横川 詩、

IV 委員会開催状況

回	日時	場所	内容
1	4月20日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・オリエンテーション ・正副委員長の選出
2	5月18日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・第11期委員会スローガンの決定 ・活動内容の検討、お楽しみ(知域王)
3	6月8日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・活動テーマ、グループの決定 ・グループ分け
4	6月29日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・活動テーマに関する学習、話し合い
5	7月13日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・活動テーマに関する学習、話し合い
	8月1日(金)	上高地・風穴の里	・市内見学(テーマに準じて)
6	8月24日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 4・5会議室	・市内見学の振り返り ・活動テーマに関する学習、話し合い
7	9月7日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 講堂	・活動テーマに関する学習、話し合い ・市への提言資料の作成
8	9月28日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 4・5会議室	・市への提言資料の作成
9	10月19日(日) 13:30~15:30	第三地区公民館 会議室	・市への提言資料の作成
10	11月9日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 講堂	・市への提言のリハーサル
	11月16日(日) 10:00~16:30	Mウイング 6階ホール	「松本子どもの権利の日」市民フォーラム
11	12月14日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・市への提言の振り返り ・今後の活動について
12	2月15日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 講堂	・次期委員会について、振り返り、まとめ ・修了式計画
13	3月8日(日) 13:30~15:30	あがたの森文化会館 2-8会議室	・修了式。お楽しみ

V 委員会活動



(第11期) 第1回まつもと子ども未来委員会の報告

4月20日(日)に、あがたの森文化会館で第1回まつもと子ども未来委員会を開催しました。今年度は、小学生15人、中学生10人、高校生11人の計36人が未来委員会に応募してくれました。当日は33人の委員が出席し、また、大学生サポーター3人も参加してくれました。

1 自己紹介

家で記入してきてもらった自己紹介シートを参考にしながら、一人ずつ、名前・学校・学年・好きな場所・好きな教科を言い、自己紹介をしました。



初めての参加で緊張している様子も見られましたが、元気いっぱいので発表してくれる子どもも多く、友だちに興味を持ってしっかり聞いていました。これからの1年間、楽しく活動していきましょう。よろしくお願いします！

2 まつもと子ども未来委員会について、子どもの権利について

昨年度、まつもと子ども未来委員会が市へ提言した内容を、第10期から継続している委員のみんなに発表してもらいました。突然のお願いで戸惑っている委員もいましたが、堂々と発表してくれました。発表を見たことで、これからの活動のイメージを持つ事ができたと思います。

事務局からは、未来委員会の目的や内容、取組みなどについて説明しました。また、子どもの権利についても説明しました。「ワニブタ絵本ガイドブック」には分かりやすく書かれています。今後、少しずつ理解を深めていきましょう。

3 正副委員長の選出

委員長1人、副委員長中高生2名、小学生2名をそれぞれ話し合って決めました。

委員長	おきもと 沖本	ゆうま 悠真	さん
副委員長	ふじおか 藤岡	あやか 絢香	さん
	やまだ 山田	あさひ 明文	さん
	ふじおか 藤岡	ゆりか 友里香	さん
	もりもと 森本	あいり 愛莉	さん



4 スローガンについて

「どんな松本市にしたいか」を具体的に考えてみました。少人数に分かれて、過去のスローガンを振り返ったり、それぞれが持っているイメージを話しながら考えました。スローガンについては、次回決めることになっています。



次回から、正副委員長が司会進行をします。みんなで協力して楽しい委員会にしていきたいと思います。



(第11期) 第2回まつもと子ども未来委員会の報告

5月18日(日)にあがたの森文化会館 2-8会議室で第2回まつもと子ども未来委員会を行いました。この日は委員31人、大学生サポーター5人が出席しました。

1 大学生サポーター

市内の大学、短期大学へ未来委員会のサポーターの選出^{せんしゅつ}をお願いしたところ、松本大学から2人、信州大学から学生6人の紹介があり、この日は5人のサポーターが出席してくれました。



今年度のサポーターは全員県外の出身です。松本市を考えるときに、松本市外の様子を知ることが大切です。サポーターさんとたくさんお話しをしましょう!

1年間お世話になります。よろしくお願いします。

2 8月の市内見学について

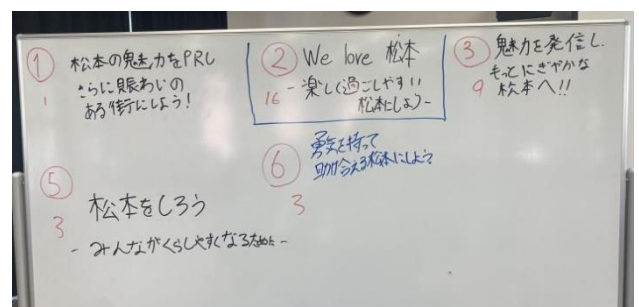
松本の施設マップから、「市内見学で行ってみたい施設をみんなに紹介しよう」ということで、発表してもらいました。「馬場家住宅」^{ばばけ}「旧開智学校」^{きゅうかいち}「考古博物館」^{こうこはくぶかん}「上高地」^{こうこうち}「美ヶ原」^{みけはら}等が出てきました。

また、松本市の自然の宝を実際に感じたい、という話も出てきました。雄大な自然を見に行きたい。松本市について、学んで、知って、自然を大切にしていきたいことも考えていきたい。これから調整^{ちようせい}をしていきたいと思います。

3 第11期委員会のスローガンについて

今期の委員会のスローガンをみんなで話し合いました。第1回の委員会の最後に書いた紙「どんな松本市にしたいか」を見ながら、それぞれの年齢の子がいるグループで話しました。

高校生がまとめ役になり、グループで1つスローガンを決めました。各グループで決めたスローガンをホワイトボードに書いてもらい、決めた思いをグループごと発表してもらいました。



第11期のスローガンは、

「We love 松本～楽しく過ごしやすい松本にしよう～」

になりました。

今までのスローガンとは少し違^{ちが}う、サブタイトルを入れたスローガンになりました。みんな松本市のことを考え、少しでも楽しくできる未来委員会にしていく気持ちが込められています。年齢に関係なく話し合える、自分たちの住んでいる松本市のいいところをみんな^こで学び、考えていこうという気持ちが込められています。

4 松本市について学ぼう

松本市について学ぼうということで、「ゼロカーボン」について、「人口定常化^{じんこうていじょうか}」について、資料を見ながら話を聞きました。

「ゼロカーボン」は市民会議^{しみんかいぎ}があります。「人口定常化」は高校生の方から学んでみたいということで資料^{しりょう}を用意しました。聞いてみたいことや、気になることを考えてみましょう。松本市について、もっとみんな^こで学んでいきたいですね。

5 「知域王^{ちいきおう}（松本バージョン）」で遊ぼう

10期の修了式後に楽しんだ「知域王^{ちいきおう}」。委員のコミュニケーションを深めるため、年齢ごとに分かれて遊びました。ルール^{ちいきおう}の説明を聞いた後、グループごと楽しみました。前回遊んだ人は、作戦を立てて高得点を狙うように、カードを置いていきました。



このゲームは25点以上取れるとすごいのですが、この日の最高得点は38点。ゲームを経験したことがある高校3年生。「大人げないけど、高得点を狙いました！」と笑顔で教えてくれました。

初めて遊んだ子も、「まだやりたい」「またやろうね」「楽しかった」と口々に言っていました。

委員同士の緊張感も遊びを通して、少しほぐれたのではないのでしょうか。



次回の委員会では、自分はこうしていきたいという思いを仲間に伝えながら、グループに分かれて、具体的な内容について話し合いを進めていきましょう。



(第11期) 第3回まつもと子ども未来委員会の報告

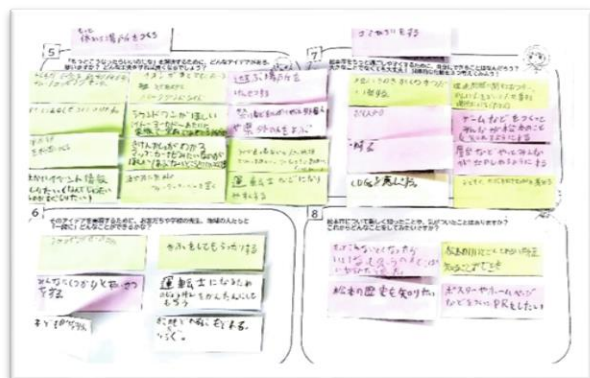
6月8日(日)にあがたの森文化会館 2-8会議室で第3回まつもと子ども未来委員会を行いました。この日は委員22人、大学生サポーター5人が出席しました。

1 平和の3行詩

今年^{せんご}は戦後80年。平和について考えてほしいという「平和の3行詩^{ぎょうし}」を考えました。戦後80年^{せんご}ということ、子どもたちは全員知っていましたが、「戦争^{せんそう}」については、よくわからないという様子でした。「平和」について少し話をした後、近くに座った友だちと話をしながら、3行詩^{ぎょうし}を書きました。「平和」を思い、考えて作った3行詩^{ぎょうし}を提出しました。

2 テーマについて

「松本の好きな場所、自慢^{じまん}したいこと、その理由」「もっと〇〇であつたらいいと思うこと」「もっとこうなつたらいいのに」「自分たちにできることは何だろう」の4つの質問^{しつもん}について、グループごとに話をしました。



まずワークシートに自分の意見を書き、その後、2、3人ずつで書いたことを話しながら付箋^{ふせん}を作成しました。最初は少人数で話をしていましたが、途中からは、流れでグループごとに話をしていました。

友だちの意見から気づくことも多く、ほかの人の話を聞いて、「それいいね」「やってみたいね」という声も自然と出ていました。イベントを企画^{きかく}したいという声も出てきたので、次回は今回出てきた意見をもとに、提言^{ていげん}するテーマについて具体的^{ぐたいてき}に考えます。





(第11期) 第4回まつもと子ども未来委員会の報告

6月29日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は26人の委員が出席しました。また、大学生サポーター7人が参加しました。

1 市内見学(8月1日)について

松本市の自然と観光について学ぶということで、今年は上高地と風穴の里で「風穴見学」を行います。資料を見ながら簡単に説明をしました。次回までに、各自でその資料を読んでくるという宿題が出されました。

次回は、資料に書かれていた内容をクイズ形式で学びます。

2 しりとりゲーム

アイスブレイクは、グループ対抗のしりとりゲームでした。30秒で何人がしりとりをつなげられるか、グループごとの対決です。強かったのは大学生サポーターチームでした。3

回戦行いましたが、3回戦目は大学生サポーターの持ち時間を短くして対戦しました。それでも大学生サポーターチームは強かったです。



3 活動内容について

市への提言に向けて、今年度の活動テーマを決めました。前回出ていた話の続きを話し合いたいという意見が出たため、第3回の話の続きを話し合うグループと、前は休んでいたため、やりたいことを出し合ってテーマを決めるグループがありました。

話し合いの途中経過については、グループの中の小学生が発表しました。みんなの前で話すことに照れている子もいましたが、話し終えた後には、みんなから大きな拍手をもらっていました。



グループ	活動内容
湧水を生かして	「打ち水大作戦」に参加 楽しんで打ち水をするにはどうすればいいか
こんな公園が欲しい	こんなことができる公園(イベント等)松本市にあるたくさんの公園を生かす 室内型の公園
子どもの居場所	みんなで楽しく遊べる場所を作ろう 過ごしやすい学校にするにはどんな学校だといいか。意見を出し合い考える。



(第11期) 第5回まつもと子ども未来委員会の報告

7月13日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は29人の委員が出席しました。また、大学生サポーター5人が参加しました。

1 市内見学(8月1日)について

当日の集まる場所や時間、持ち物などをしおりで確認しました。確認したことはおうちの人と話すように約束しました。

その後、市内見学についての9つの4択クイズに挑戦しました。前回の未来委員会の資料としおりを見ながら答えを考えました。みんなで問題を解いた後、答え合わせで手を挙げて答えた結果、ほとんどのみんなが全問正解でした。



事前の勉強は終わったので、市内見学では実際に自分の目で見て感じてきましょう。

2 活動内容について

各グループで高校生や大学生サポーターが工夫をして、小中学生が話しやすいように質問や声かけをしてくれました。

高校生から小学生まで年齢が違う中で、高校生がネットで調べた情報を小中学生に見せながら話を進めるグループもありました。また、仲良くなるために、あだ名で自己紹介をして、お互いの名前を呼びやすくする工夫もありました。打ち水活動に取り組むグループでは、ペットボトルを使って楽しく打ち水ができる方法を試していました。



話し合いの中で、「市役所の担当課の人に直接聞きたい」「市の取り組みをもっと知りたい」という意見が出てきたので、8月の未来委員会では担当課の人に来てもらって話を聞く予定です。



みんなで意見を出し合うと、考えや思いが違うこともあって、自分の意見を言ったり、アドバイスをしたりして、熱心に話し合う場面もありました。いろいろな意見を言ったり聞いたりする良い話し合いができています。それぞれ違う気持ちはありますが、出てきた意見を大切に、みんなで考えていきましょう。



(第11期) まつもと子ども未来委員会市内見学の報告

8月1日(金)に、市内見学をしました。この日は、29人の委員、4人の大学生サポーターが参加しました。

1 市内見学のスケジュール

8:30	集合
	風穴の里(トイレ休憩)
10:20~ 14:00	上高地散策 バスターミナル(所長さんのお話) → 田代橋 → ウェストン碑 → 昼食 → 河童橋 → ビジターセンター
14:45 ~ 15:35	風穴の里 稲核風穴見学
16:45 ~ 17:30	松本城公園 打ち水大作戦

2 上高地見学

朝から天気が良く、山並みに青空が映える中、バスに乗って上高地へ行ってきました。上高地に行くバスの中では、いくつかのトンネルを通ったかクイズが行われましたが、あまりにもトンネルが多くて、「10個以上トンネルあったよ」と話していました。

(1) 自然公園財団 高山所長のお話

高山所長より、上高地を管理している自然公園財団のお仕事について話を聞きました。昔はゴミだらけだった上高地ですが、地元の方の協力で、今は観光地としてきれいな上高地が保たれているという現状について聞きました。

また、上高地の5つのルール(採らない、与えない、捨てない、持ち込まない、踏み込まない) + 2(乗り入れない、飛ばさない)の説明を聞きました。

野生動物についてもお話していただきました。上高地は、人がいるところに熊や猿が出てくることもあり、「野生動物にエサの味を覚えさせないで! エサをあげないことで野生動物は自然にある食べ物で生きていくことができる」という話もありました。



(2) ゴミ拾い

自然公園財団の高山所長より、「歩いているときにもしよかったらゴミ拾いにご協力ください」との話があり、やってみたくらい子は、ごみ袋をもらい、ゴミ拾いをしながら歩きました。

自然公園財団の方が常に行っている活動で、上高地はほとんどゴミがない状態でした。靴底のはがれたもの、靴下、お菓子などが落ちていて、こんなものが落ちていと報告してくれる子もいました。

足元に注目していたので、いろいろな虫や猿の糞を見ることができました。



(3) 梓川



青く透き通った水が流れている梓川。梓川の兩岸を歩き、きれいな風景を見てきました。「川の水を触りたい」と希望が出たので、歩いている途中で河原に下りて、川の水に触れてみました。

梓川の河川敷は白っぽく見える石が多く、天気が良かったため、太陽の照り返しがすごい状況でした。しかし、川の水は冷たくて気持ちよかったです。水はとってもきれいでしたが、川の石は赤くぬるぬ

るっていて、ぬるぬるすると言いながら触っていました。

大きな川に来るとやりたくなる石を投げての水切り。ここでも楽しそうに始める姿がありました。

(4) 河童橋

上高地といえば河童橋。「河童橋ってどこ？」と聞いてくる子がたくさんいました。実際に河童橋に行つての感想は「人が多いね」「吊り橋で思った以上に揺れる」でした。写真で見たことのある河童橋と、実際に歩いて渡つた河童橋は違つていたようです。河童橋につく頃は、雲が増えてしまい、河童橋から山が見にくい状況でした。

(5) ^{しみずがわ}清水川

^{かっぱし}河童橋

よりビジターセンター側に、梓川に流れ込んでいる^{しみずがわ}清水川。湧き出した地下水がそのまま川となり流れています。この川の水が本当に冷たい。少し手を水につけた



ただけでもキンキンに冷え、気持ちよい。というよりも痛いくらい冷たい。何秒間、川の水に手をつけていられるかゲームが始まりました。10秒でかなりきつい冷たさでしたが、30秒間挑戦している子もいました。

水が本当にきれいで、写真を撮っている子もたくさんいました。

川の脇に^{わき}トリカブトが生えていて、「トリカブトだよ」と教えてもらおうと、「^{どく}毒だ！」と言いながら写真を撮っていました。

(6) ビジターセンター

上高地の写真が飾ってあり、今回見るができなかったきれいな風景の写真をじっと見る姿がありました。風景を見ながら歩いてきたので、季節によって変わる山の姿を写真で見っていました。

(7) ^ひ山の日の碑「山と共に」

山の日^{せいてい}制定の記念に上高地に作られた「山と共に」の碑。

案内をしてくれた高山所長がこの碑^ひの設置^{せいち}に関わり作ったという話を聞き、みんなで記念撮影。



3 ^{ふうけつ}風穴の里 ^{いねこきふうけつ}稲核風穴

^{あずみ}安曇地区の「^{いねこきふうけつ}稲核風穴」。

風穴の里から歩いて^{いねこきふうけつ}稲核風穴へ。ここは^{のむぎとうげ}野麦峠への昔からある道になります。^{こかげ}木陰を歩きましたが、暑い。



にも^{てんさい}点在していることなどを聞きました。

風穴の里の入口で、^{いねこきふうけつ}稲核生産組合の川上さんのお話を聞きました。

地域に根ざした場所であること、^{ようさん}養蚕の卵の保存がされていたこと、食材の保存庫であること、昔から利用されてきて、集落の中



話を聞いた後、実際に風穴の中へ。入った瞬間、子どもたちの想像を超えた涼しさを感じ、「これクーラーが利いてるの？」という子もいました。

この日は本当に暑かったので、自然の涼しさに触れ、大興奮。「すごいね」と言いながら体感していました。「こんなところがあるなんて知らなかった。おうちの人に教えてあげたい」と口々に話をしていました。

4 打ち水大作戦

「湧き水、井戸水」のグループから出てきた案で、市環境・地域エネルギー課、エコネット松本主催の松本城打ち水大作戦に参加してきました。

打ち水が楽しめるように、ペットボトルを加工して水鉄砲のようにしたり、ペットボトルのボーリングで楽しめるように準備をしていました。

水がたくさんまかれると、涼しくなっていくことを体感でき、また小さい子連れの観光客がペットボトルボーリングを楽しんでやっている姿がありました。終了後はエコネット松本の方々と片付けを最後までしっかりとできました。



関わってくださった関係者、各担当課の方、ありがとうございました。



(第11期) 第6回まつもと子ども未来委員会の報告

8月24日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は28人の委員が出席しました。また、大学生サポーター5人が参加しました。

1 広島平和記念式典訪問の報告

広島平和記念式典参加事業に参加した未来委員の高校生が、現地での体験報告をしてくれました。発表では、高校生が現地で撮影した写真をスクリーンに映しながら、平和記念式典の様子や訪問した各施設について詳しく紹介してくれました。高校生ならではの視点で撮影された写真を通じて、世界各国のメディア関係者による取材活動の様子や、(各国の偉い人が来るので)式典会場への入場時に行われるセキュリティチェックの状況など視点の違う報告がありました。

現地で直接体験し、自分の目で確かめることの大切さについても話してくれました。

2 中心市街地について

中心市街地活性本部の奥原次長補佐にお越しいただき、市の中心市街地計画に関するお話を伺いました。こちらから事前にお送りした質問についても、説明の中で詳しく回答していただきました。印象的だったのは、「行政が先頭に立って進めるのではなく、その地域に暮らす住民や地域組織、事業者の皆さんが理想のまちづくりを描き、中心的な役割を持つことこそが重要である」というお話でした。



3 提言に向けて話し合い

話し合いを重ねる中で、各グループの取り組み内容が重複してきたため、提言の方向性を整理し、グループを見直しました。一人ひとりが取り組みたいことを全員の前で発表したことで、自分なりの方向性が明確になった人もいました。

「湧き水、打ち水」「交通」「室内公園」「居場所」の4つのグループになりました。11月の提言まであと数回の中でのグループの再編成となりましたが、これまでの話し合いの内容も活かしながら、自主的に学習を進め、浮かんだアイデアや構想をまとめることができれば良いと思います。





(第11期) 第7回まつもと子ども未来委員会の報告

9月7日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は25人の委員が出席しました。また、大学生サポーター4人が参加しました。

提言に向けてグループごとに分かれて、前回編成したグループで話をしました。絵を描いて自分の思いを表現したり、ほかのグループの委員に現状の聞き取りをしたり、インターネットで気になることを調べたりと、それぞれ工夫を凝らして話を進めました。

自分の思いをグループの友達に話をして伝える姿も多く見られました。友だちのアイデアを聞く中で、聞き手の新しい考えが加わり、新しいものが生まれていくなど、みんなで楽しみながら、意見を交換する姿がありました。一人では気づけなかったことを、周りとの話し合いの中で気づき合う様子も見られました。

みんなの意見を踏まえて資料作りも始めました。調べたり話し合ったりしながら、自分たちの思いをスライドにまとめて始めました。



グループテーマ	話し合った内容
居場所	自分たちの行きやすい場所(利用しやすい場所)について
自動運転バス	欲しい路線は? 観光客向けについて、案内するならどんなこと?
室内公園	どんな遊具が欲しいか 具体的に絵をかきました。
水、湧き水、打ち水	今まで実践したことや、調べたことをまとめました。 ネットの情報が少ないからどうすればいいか



(第11期) 第8回まつもと子ども未来委員会の報告

9月28日(日)にあがたの森文化会館でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は29人の委員が出席しました。また、大学生サポーター5人が参加しました。

1 子どもの権利と平和について

今年の市民フォーラムのテーマ「過去から未来へ ~平和が紡ぐ子どもの権利フォーラム」に合わせて、大きな鶴を作るため、和紙にみんなで平和への思いを書きました。平和や子どもの権利について、言葉や絵など思いつくものを自由に書いていました。「平和って何?」と友だちと話をしながら書いたので、平和について考えるよい機会になりました。



2 市民フォーラムについて

当日の流れを説明した後、提言の後にはどのような流れで進めるか、各グループの発表順なども含めて、意見を出し合い、決めました。また、市民フォーラムで大会宣言を読む人は、立候補をした「山田 明文」さんに決まりました。

3 各グループごと話し合い

グループテーマ	話し合った内容
居場所	発表用スライドを作成しました。
交通	バスの中でのアナウンスを考える。松本城の豆知識を入れよう
室内公園	自分たちが欲しい遊具の絵を模造紙にまとめました
水、湧き水、打ち水	作ってきた発表用スライドを確認し合い、当日話す内容について考えました。

スライドを作成する中で、「文字が多かったり、文字が小さいと見にくいので、スライドの作り方を工夫しよう」などの意見を出し合う姿もありました。





(第11期) 第9回まつもと子ども未来委員会の報告

10月28日(日)に第三地区公民館大会議室でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は25人の委員が出席しました。また、大学生サポーター4人が参加しました。

1 子どもの権利と平和について

前回に引き続き、今年の市民フォーラムのテーマ「過去から未来へ ~平和が紡ぐ子どもの権利フォーラム」に合わせ、大きな鶴を作るために、和紙にみんなで権利や平和への思いを書きました。友だちと話をしながら、絵や言葉で表現することを楽しんでいました。

大きな紙に書き進める中で、最初は小さかった絵や文字もだんだんと大きくダイナミックに描くようになっていきました。



2 市民フォーラムについて

フォーラムまでの今後の流れについて確認しました。集合時間の変更や当日の持ち物、各グループの代表決めなどについて話をしました。

3 各グループ話し合い

11月16日に向けて、スライドの確認と実際に発表にかかる時間の計測、人が話をしていることを見たり聞いたり、人前で話す練習を課題としていましたが、多くのグループが話し合いと作業に取り組みました。

発表データを見て、「ここが同じようなことだね。」「文字が大きくなると見やすいね。」など、意見を出し合う姿もありました。また、学校でもらった資料などを活用しながら、グループ内で話し合いを進めていました。

グループテーマ	話し合った内容
居場所	スライドに入れるイラスト作成
交通	バスの中での観光用アナウンスについて
室内公園	スライドを見て、文字を大きくしたほうがいいところを確認
水、湧き水、打ち水	スライドを見ながら話をし、発表にかかる時間や内容について話し合い





(第11期) 第10回まつもと子ども未来委員会の報告

11月9日(日)にあがたの森講堂でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は27人の委員が出席しました。大学生サポーターは5人が参加しました。



1 グループごとの打ち合せ

11月16日(日)の市への提言まであと一週間。グループごとに集まり、自然と打ち合わせが始まっていました。誰がどこを読むのかを決め、グループごとにリハーサルを開始する姿がありました。話し合いを自分たちで主体的に進められるようになり、本当に成長が感じられるひと時でした。



2 全体リハーサル

あがたの森の講堂のステージを使用して、本番と同じようにリハーサルを行いました。当日の流れを説明した上で、実際に通しでやってみました。

みんなマイクを持ってしっかり話をする事ができました。ただ、ステージに上がってみんなの前で話をするという状況で、緊張して早口になってしまうこともありました。当日はゆっくり話ができるといいですね。



リハーサルの後、よかったこと、さらに良くなる工夫、スライドの文字が小さいから直したほうがよいことなど、意見を出し合う姿がありました。

本番前にもう一回リハーサルがありますが、「話をする練習を家でやろうね」と高校生から、小学生に伝える姿もありました。

小学生から高校生までが参加する活動だからこそ、年下の子の

不安を取り除く言葉も自然に出てきていました。

高校生たち、本当にありがとう！！

11月16日は、今まで学んできたことを市へ伝える貴重な機会です。

みんなで協力して発表をしましょう。





(第11期) まつもと子ども未来委員会 市への提言の報告

11月16日(日)に中央公民館Mウイング6階ホールで「過去から未来へ～平和が紡ぐ子どもの権利フォーラム～」が開催され、市への提言を行いました。この日は、委員24人と大学生サポーター7人が参加しました。

1 全体を通して

会全体の一部の総合司会や、「子どもの権利と平和」についてのスライドによる説明、市内見学の発表(委員から提出された市内見学の感想文をもとに作成)、大会宣言や、提言以外にも積極的に関わってくれました。話をする姿は、堂々としていて、本当にかっこよかったです。



また、自分たちが住む松本の過去の出来事や平和について学ぶこともできました。

2 提言の様子

4月から全体で学んできました。8月にグループに分かれて、グループごと意見を出し合いながら話し合いを重ねてきました。その成果をスライドにまとめ、今回、会場に来てくださった約100人の前で発表しました。市への提言という経験が初めての子どもも多く、リハーサルから緊張している様子が見られました。本番ではそれぞれが堂々と発表することができ、温かい拍手をいただきました。



3 提言と伊佐治副市長、曾根原教育長コメント 副市長、教育長からお言葉をいただきました。

(1) 打ち水グループ

ア 松本の水を知れる博物館の新しい常設展示について

【伊佐治副市長コメント】

今日の発表を聞いて、新しい博物館には、松本の「水」についてみんながよくわか

るような展示があるといいと感じました。博物館の展示はいつも同じだけれど、入口や空いている場所を使って、新しいことを見せる工夫もできるはずです。

私は前に「和食展」という特別な展示を見に行ったとき、松本には井戸がたくさんあって、近い場所でも「硬水」と「軟水」があることを初めて知りました。その展示を見て、松本のことがもっと好きになり、水を大切にしたいと思いました。だから、「知ることが大事にする気持ちにつながる」というみんなの考えに、とても賛成です。

【曾根原教育長コメント】

地面に水をまく「打ち水」をすると、水が蒸発して地面の温度が下がり、まわりの空気もあまり暑くならないので、涼しくなる。ふつうは水道の水を使うけれど、松本にはたくさんのきれいな水が湧き出しているから、その水を使えるのがすごいところだと思う。

松本には、水があふれる特別な地形のひみつや、水の場所によってちがいが出る理由、どうして飲めるほどきれいな水が出るのか、打ち水のしくみなど、展示できるお話がたくさんある。これからそんな展示のアイデアを博物館にも提案していきたい。

イ 楽しみながら触れる水を使ったイベントについて

【伊佐治副市長コメント】

松本のまちには井戸だけでなく、パルコがあった通りに大きな「せせらぎ（水が流れるところ）」があります。ここは町の人たちが掃除して守ってきましたが、町の人が少ないたりお年寄りが増えたりして、掃除が大変になってきています。そんな中、筑摩小学校やエクセラン高校、通信制高校の子どもたちが、デッキブラシで一生懸命お手伝いしているのを見ました。とてもすてきなことだと思いました。こうした活動と合わせて、みんなで気持ちよくて涼しい水のある環境を作っていけたらいいと発表を聞いて感じました。

【曾根原教育長コメント】

世界では、水が少なくて取り合いになり、けんかや戦争が起きることもあるくらい、水はとても大事です。そんな中で、松本には水がたくさんあふれていて、本当にすばらしい場所だと思います。だから松本の名前に「水のまち」という意味をつけてもいいのではないかとこのくらい水がすごいです。

(2) 交通グループ

ア 松本城から駅までの将来的な自動運転バスの運行について

【伊佐治副市長コメント】

今回みんなが「自動運転バス」について考えてくれたことに、まずお礼を言いたいです。自動で走るバスは、これから技術が進めば、きっと松本でもできるようになると思います。みんなが「まずは観光客向けに、松本駅から松本城まで走らせる実験を試みたらどうか」と考えたところが、とてもよかったです。道も広いし、松本の新

しい良さとしてアピールできるかもしれません。

また、みんなは「信州大学へ行く学生さんが朝とても多いから、その方面のバスも増やしたほうがいい」と言っていました。朝は学生が長い行列になっていて、みんな大変そうなので、もっとスムーズに乗れる仕組みがあればいいなと私も思っていました。松本城へのルートの次に大事な場所として、^{しんだいほうめん}信大方面を考えたのは、とてもすばらしい考えです。

【曾根原教育長コメント】

とても便利な未来の社会では、自動で走るバスが使われるようになります。今、いろいろな会社がその技術を一生懸命作っていて、近い未来にはきっと実現すると思っています。

イ AIを活用した観光客向け放送導入^{ほうそうどうにゅう}について

【伊佐治副市長コメント】

AIを使って昔の有名な人の声をよみがえらせる、という考えは今まであまり思いつかなかったけれど、とてもよいアイデアだと思いました。

【曾根原教育長コメント】

昔の人物の声をAIで作るという考えは、私も思いついたことがなかったけれど、とてもおもしろいと思いました。AIは恐竜^{きょうりゅう}の声も体のつくりから予想^{よそう}して作れるので、人の声を再現するのもワクワクします。それから「抜け穴^{でんせつ}の伝説」のように、場所の秘密^{ひみつ}や歴史^{れきし}を先に知っていると、観光に行ったときに「もっとよく見たい！」という気持ちになります。何も知らないで行くと、ただ見て終わってしまいますが、知っていると心に残る観光ができるという話です。

(3) 室内公園

ア 夏でも思いっきり体を動かして遊べる室内公園を作ってほしい

【伊佐治副市長コメント】

市長に手紙を送れるしくみがありますが、そこにも「雨の日でも暑い日でも遊べる場所がほしい」という子どもたちの声がたくさん届いています。長野市には「ながノビ」という、科学館^{かがくかん}をリフォームして作った、思いっきり遊べる遊具がたくさんある施設があります。それを見に行くと、松本にもこんな楽しい場所があったらいいなと強く思いました。

イ 室内にある公園で、冷房^{れいぼう}があって夏でも涼しい公園がほしい、家から行きやすい公園が欲しい、アルプス公園は楽しいが松本駅から歩くと一時間かかり、あまり遊びに行けない

【伊佐治副市長コメント】

松本市では、子どもたちが家の近くで遊べる場所がほしいという声があります。児童館や児童センターはありますが、ほとんどが学童^{がくどう}（放課後に子どもを預かる

場所) でいっぱい、学童に行かない子どもが気軽に遊べる場所はほとんどありません。市はこれまでそのままにしてきたことを子どもたちにおわびしたいと思っています。だから、市長も「みんなが遊べる場所をつくりたい」と言っていて、みんなの意見を大切にして、具体的に提案^{ていあん}していきたいと考えています。

【曾根原教育長コメント】

教育委員会として、みんなが使える場所でどんなことができるか、これから一緒に考えていきたいと思っています。

ウ こんな公園があればいい「水の城」。

【伊佐治副市長コメント】

公園で「こんな遊びがあったらいいな」という話の中で、「水の城」というアイデアがありました。これは松本の水のすてきなところともつながるので、実際に作れたらいいと思っています。

(4) 居場所

ア 自分の家以外で友だち同士で集まる場所がほしい

「話せる部屋」と「静かにする部屋」を区別する

【伊佐治副市長コメント】

未来委員会から「若い人が集まれる場所をもっと作ってほしい」という意見をもらって、少しずつ増やしています。たとえばMウイングの2階には、勉強できる場所や、グループで学べる場所、気軽に話せる場所などを工夫して作りました。でも今は少し狭^{せま}いので、みんなの声を聞きながら、他の場所でもいろいろなスタイルで楽しめる居場所を増やしていきたいと思っています。若者が集まれる場所のことは、未来委員会や若い人たちと一緒に考えて作っていききたいです。

イ あがたの森でエアコンが設置できなくてもポータブルクーラーを導入してほしい

【曾根原教育長コメント】

あがたの森は大事な文化財^{ぶんかざい}なので、簡単に建物を変えたりできません。エアコンをつけたいと思っても、国の許可^{きよか}が必要で簡単にはできません。持ち運びできる小さなクーラーならすぐに使えるので、そういう方法を考えたいと思っています。

ウ あがたの森文化会館では受付が別のところで必要なのでタブレットやQRコードを使ってかんたんに受付できるようにしたい

【曾根原教育長コメント】

受付の手続きが、今はわざわざ行かないとできないのは面倒ですね。みんなから意見をもらったので、どうやったら便利にできるかをこれから考えていきたいと思います。



(第11期) 第11回まつもと子ども未来委員会の報告

12月14日(日)にあがたの森2-8会議室でまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は22人の委員が出席しました。大学生サポーターは5人が参加しました。

1 市への提言振り返り

最初に、11月16日に伊佐治副市長、曾根原教育長からいただいたコメントと、提言に対して担当課からの回答を読みました。続いて、グループごとに提言して良かった



ことと反省点を出し合いながら、4月から実践してきたことを振り返りました。

感想としては、「改めて知ることがあった」「市で行っていることが分かった」「課題を見つけてアイデアを考えることができた」「自分事として意見を伝えられた」

など、改めて市のことを知ることができたことが、今回の成果だったと感じます。

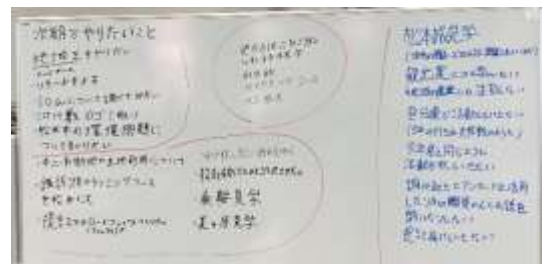
提言など取りまとめをしてくれた高校生たち、本当に頑張ってくれました。



2 来年度やりたいこと

4月からの学んできたことを提言し、提言に対する回答を受け、次期未来委員会でやってみたいことについて意見を出し合いました。

今年度の上高地に行った経験から、乗鞍や美ヶ原にも行ってみたいという意見が出ました。また、博物館からの提案があった展示の作成や観光、環境問題について学びたいという意見も出てきました。今感じている思いを次期に生かせるといいですね。



3 終了式について

今期の未来委員会は2月15日と3月8日の2回となります。終了式を自分たちで企画して行います。お楽しみとして、昨年から楽しんでいる「地域王」をやりたいという意見が多く寄せられました。終了式後やるお楽しみでみんなで楽しめるといいですね。



(第11期) 第12回まつもと子ども未来委員会の報告

2月15日(日)にあがたの森講堂ホールでまつもと子ども未来委員会を行いました。この日は24人の委員が出席しました。大学生サポーターは3人参加しました。また、未来委員会のOB・OG5人が来てくれ、交流をしながら一緒に話し合いに参加しました。

1 終了式について

今年度最後の未来委員会(3月8日)に行われる「修了式」を企画しました。「司会」「BGM」「会場」「お楽しみ」のグループに分かれ、話を進めました。

一つの会を作り上げるため、調査と称して、「BGM」グループが好きな曲を他のグループの委員に聞いて歩くなど、自分たちで考え動く姿が見られました。また、「BGM」グループの動きを見て、「司会」グループが、マイクで全体に、「修了証書」をもらう時間よりも、せっかくなので、みんなで楽しむ時間を多くしたいのですが、意見はありますか?と問いかけたことで、それぞれの意見を出し合い、調整して自分たちの会を作っていく姿が見られました。みんなで考えて企画することができました。

3月8日は素敵な会になるといいですね。



2 提言について

松本市立博物館では、打ち水グループの提言を受けて、博物館の学芸員が展示物を作成してくれました。提言に当日伊佐治副市長が話をしてくれていた松本の水の「軟水・硬水」を示したものもあります。なぜ湧き水・井戸水が多いかも展示されています。

メールでお知らせしてあったので、すでに見に行った委員もいました。





(第11期) 第13回まつもと子ども未来委員会の報告

3月8日(日)にあがたの森2-8会議室でまつもと子ども未来委員会を行いました。第11期最後の未来委員会として、終了式しゅうりょうしきを行いました。インフルエンザの影響えいきょうで欠席者が多くなりましたが、委員22人、大学生サポーター2人、OB・OG3人が参加しました。会場やBGMなどは自分たちで準備し、好きな曲が流れる中で終了式が始まりました。

1 終了証授与

終了証しゅうりょうしょうはこども育成課長かちょうが代表者3名に授与じゅよしました。その後、課長は一年間活動してきた委員に向けて「今年度のスローガンにもあるように、松本市をもっと好きになるように一緒に考えていきましょう。一年間、お疲れさまでした」と話しました。



2 おたのしみ

終了式のおたのしみは、レクリエーション係が進行し、小学生・中学生・高校生・OB・OGの5グループに分かれました。まず、「知域王ちいきおう~松本版~」の遊び方の説明を聞き、グループごと遊び始めました。



小学生はじっくり考えて、取るカードを選えらんでいました。中学生は、友だちの残りカードを見ながら、得点が高くなるカードを選んでいました。高校生は、高得点を狙ねらって、相手の様子を探さぐりながら対戦していました。年齢ごとに分けて遊ぶことで、それぞれの特徴とくちょうが出る遊び方を楽しんでいました。高校生には、OB・OGも混まざり、より高度な作戦さくせんを練り、楽しむ姿も見られました。



今回のおたのしみは「ゆっくりみんなで楽しみたい」という希望があり、十分に時間をとって、遊ぶことができました。

これまでもまつもと子ども未来委員会で「地域王ちいきおう」を楽しんできたので、今回松本青年会議所きぎょが「地域王」11セットを寄贈してくれました。ありがとうございます。

3 高校3年生、大学生サポーターからひと言

3月に高校を卒業する3年生2人と大学生サポーター2人から話をしてもらいました。

活動期間は1～2年間でしたが、各グループの中心となって、小中学生の意見を取りまとめ、データを作成するなど積極的に活動してくれました。



「未来委員会に出会って、人生が変わりました」「いつのまにかここが居場所になっていました。」という感想はそれぞれですが、3年生2人は皆勤で参加し

てくれていました。これからも新しい舞台での活躍を応援したいと思います。

大学生サポーターの皆様には、本当にお世話になりました。

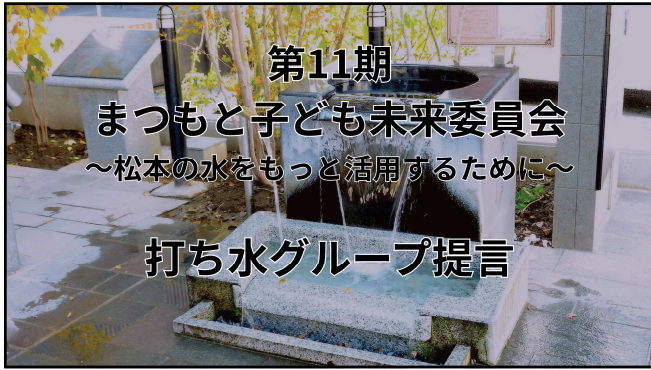
「話し合いで困ったときに助けてくれた」「困っているときに一緒に考えてくれた」「別の視点からの意見や考えを言ってくれた」など、委員の皆さんから「大学生サポーターがいてくれて良かった」という声が多数ありました。

大学生サポーターからは「来年も未来委員会に参加するので、一緒に活動しましょう」との話がありました。

ポーズは第11期の「11」を表現しています。
個性が出たポーズになっています。
元気いっぱい表現してくれた人もいました。

一年間
お疲れさまでした





00 はじめに

打ち水大作戦

参加者が楽しみながら水や環境を考えた

はじめに

委員会の活動を通じて

- ▶ はじめに
- 問題提起
- 解決方法
- 私たちの提案
- まとめ

00 はじめに

打ち水大作戦の感想

- ・楽しく打ち水しながら、周りの温度を下げることでよかったです。松本城に来ている観光客の方たちも参加してくれてうれしかったです。
- ・夏は毎日のように打ち水のイベントがあれば、少しでも気温が下がって過ごしやすくなるのではないかと思います。
- ・打ち水をしている間は動いているにも関わらずどんどん涼しくなっていったので、少しでも楽しく、できるだけ環境にいいことをしていきたいと思った。
- ・風鈴の音や浴衣を着るともっと涼しく感じるのかなあと思った。
- ・打ち水では水を撒いた周りが涼しく感じたから効果的だと実感した。

00 はじめに

上高地見学

松本の綺麗な自然を守っていきたく思った

00 はじめに

活動の中で水の可能性を感じた

- ・打ち水で環境への働き
- ・リラックス効果
- ・井戸での観光資源
- ・憩いの場としての機能
- ・学びのテーマ

00 はじめに



委員会の活動を通じて水を知り、
水に触れることで



「松本の水をもっと活用していきたい！」
と思えた

7

01 問題提起

課題は大きく分けて二つ

- 水を知るための情報が少ない
- 水に触れるためのイベントが少ない



10

00 はじめに

市民にも思ってもらおう

市民が 水を知る 機会を増やす
水に触れる



松本らしい活用、環境への働きかけができる！

8

01 問題提起 ~知るための情報~

情報が少ないと…



現状の井戸の姿が見えにくくなり、
井戸を使ったり、維持に関わりづらくなってしま

11

問題提起

現在の松本の井戸、湧水に関する課題

はじめに
問題提起
解決方法
私たちの提案
まとめ

9

01 問題提起 ~知るための情報~

新まつもと物語での2024年~の記事の数

井戸、湧水の記事

7件



松本城の記事

31件



新まつもと物語の湧水に関する記事は少なく
水に関する情報が更新されていない

(2025年9月時点)

01 問題提起 ~知るための情報~

松本市立博物館の常設展示に水をテーマとした展示がない



- ・テーマ1 お城のあるまち
- ・テーマ2 にぎわう商都
- ・テーマ3 開かれた盆地
- ・テーマ4 ともにある山
- ・テーマ5 伝えてきた心
- ・テーマ6 生きる力
- ・テーマ7 変わりゆく社会
- ・テーマ8 継いでつなげて

博物館の役割としても
各地の水場への導線が必要

01 問題提起 ~触れるための機会~

イベントが少ないと...



「関心はあるが触れる機会がない人」
を動かしにくくなってしまふ

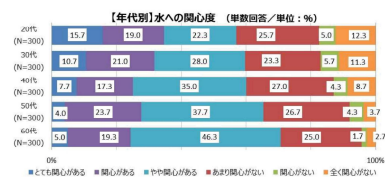
01 問題提起 ~知るための情報~

評価

見える所にある情報が少ない

新まつもと物語や博物館などの
多数が目をつける場所の情報が多く、古いのは問題

01 問題提起 ~触れるための機会~



半数以上の方が水に対して関心を持っていて、
高関心層は20代が34.7%、30代が31.7%と若者に多い傾向

水にかかわる生活意識調査
2025年 第31回調査 | ミツカン水の文化センターより引用

01 問題提起

課題は大きく分けて二つ

- ・ 水を知るための情報が少ない
- ・ 水に触れるためのイベントが少ない



01 問題提起 ~触れるための機会~

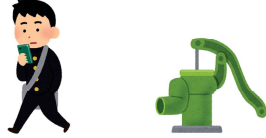
現在の水に関するイベントは、スタンプラリーや有料のツアーで、中心市街地では大きなイベントは少ない

現在の主なイベント

- (中規模)
 - ・ 打ち水大作戦
 - ・ 槻井泉神社例大祭
- (小規模)
 - ・ まちなか朝活ウォーキング
 - ・ 湧水めぐりイン松本
 - ・ みずめぐり姫とめぐる井戸、湧水、水路〜利き水、お茶

01 問題提起 ~触れるための機会~

関心をもっているも…



大々的に開催しているイベントがなく、
需要に対して供給が少ないと感じた

19

02 解決方法

現在の情報

新しく、見える情報



+α

水についての知識を深められる！

22

解決方法

水に触れて知ってもらう

- はじめに
- 問題提起
- ▶ 解決方法
- 私たちの提案
- まとめ

20

02 解決方法

イベント、機会を増やすことで



興味はあるし、
やってみようかな

「関心はあるが触れる機会がない人」
を動かすことができる

23

02 解決方法



井戸・湧水を知る、触れる展示やイベントで
市民の意識を変えられる！

21

02 解決方法

実際に触れて知ることで…



松本の水資源を持続的に守っていける！

24

私たちの提案

展示とイベント

- はじめに
- 問題提起
- 解決方法
- ▶ 私たちの提案
- まとめ

25

03 私たちの提案

博物館で知る 実際に見てみる 井戸を使う・守る



博物館で水場への関心が高まり、
人が集まる憩いの場に！

28

03 私たちの提案

- 松本の水を知れる博物館の新しい常設展示
- 楽しみながら触れる水を使った新イベント

26

03 私たちの提案

実際に見てみる イベント告知を見つける 行って楽しむ！



さらに、中心市街地で水を活用したイベント
を開催することで、井戸などの水場をもっと活用できる！

29

03 私たちの提案



新しく湧水に関するテーマを作る
「町に繰り出してみよう！」と思える展示
(井戸の歴史、水の味の違いなど)

常設展示は、多様な魅力にあふれた「松本まるごと博物館」の目次であり、
また、現地へ誘うガイドセンターとしての役割を有しています。
松本市立博物館HPより引用

03 私たちの提案

新しいイベントを増やす



井戸がある公園や空き地で、
打ち水などの水に関するイベントを行う

30

03 私たちの提案

流しそうめん大会



ウォーターフェスティバル



年に複数回中心市街地で中、大規模のイベントを継続的に
に行い、松本らしい“まち”に

31

04 まとめ

博物館の展示



イベント



今あるものにプラスして、水を知る・触れる場所を増やすことで、「松本らしさ」を創っていける！

34

03 私たちの提案



ぎゅっと松本物語
Welcome to Matsumoto!
市のHPや新まつもと物語に、水に関する
イベントの宣伝を掲載する

32

発表は以上です
ありがとうございました！

35

まとめ

水で松本を創るために

- はじめに
- 問題提起
- 解決方法
- 私たちの提案
- ▶ まとめ

33

自動運転バスの可能性

今後も続く運転手不足の突破口として

松本子ども未来委員会
交通グループ



36

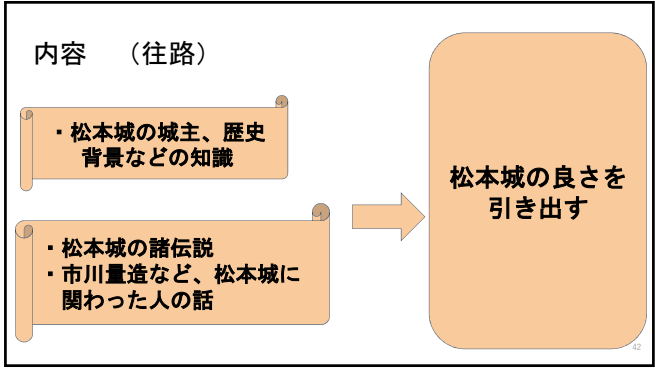
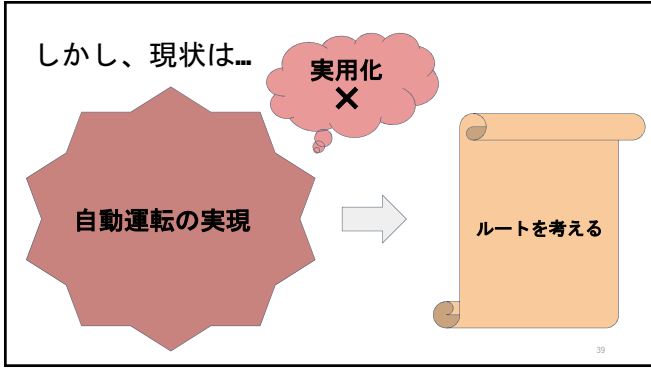
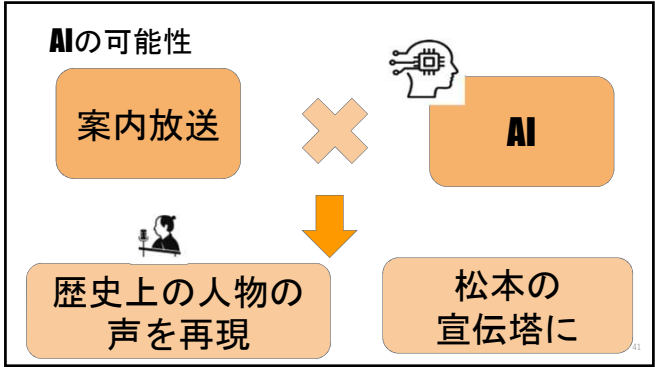
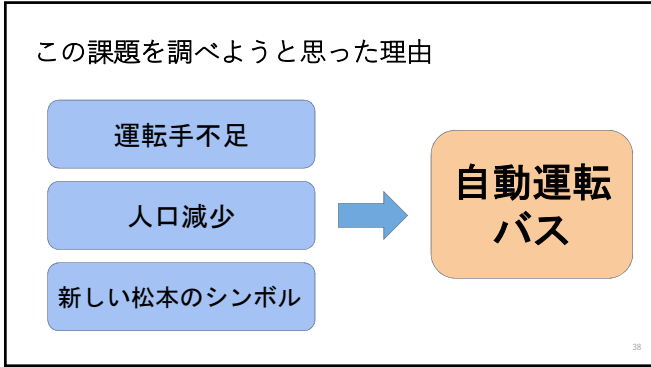
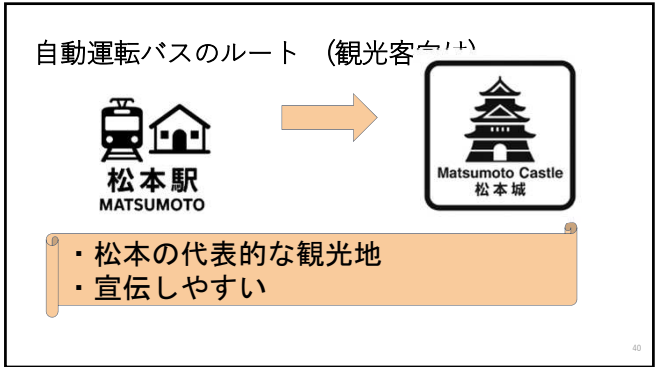
近年の地方公共交通の現状

2024年問題

少子高齢化

	現行	見直し後
1年の拘束時間	3,380時間	原則：3,300時間
4週平均	[4週平均1週間]	[1か月の拘束時間]
1週	原則：65時間 (月間：261時間)	原則：281時間
1か月の拘束時間	最大：71.5時間 (月間：309時間)	最大：294時間
1日の休憩時間	継続8時間	継続11時間を基本とし、9時間下限

※281時間を超える月が4か月を超えて継続しないこと。
※4週平均1週の拘束時間の計算で9割、1か月と割り切。



内容 【復路】

- ・子供の考える、松本のおすすめスポット

委員会では...

かつ玄、クレープ工房、ツルヤ etc...

43

将来像



自動運転バスの
実証実験



市街地を循環
するバス

また、生活路線の本数を拡充する

45

目指すものは...

バスの自動放送を通じて、観光客
に松本を身近に感じてもらうこと

44

提言

- ・ 松本城から駅までの将来的な
自動運転バス運行
- ・ AIを活用した観光客向け放送導入

47

・ 放送の例 【抜け穴伝説】

- ・ 松本城には、天守と城外を結ぶ抜け穴の
伝説があります。

天守1階で見ることができますので、ぜひ
ご覧ください。

45

ご清聴ありがとうございました！

出典 打倒ファースト

<https://www.nippon.com/media/legal-reforms-in-motor-vehicle-driving-operators/>

45

室内公園グループ

一年中快適に遊びたい！

49

アルプス公園

市街地よりは涼しいが、屋外だから**暑い**

楽しい体験もできるけど**家から遠い**人も多く、あまり遊びに行けない

52

この提言にした理由

・夏場とても暑いので外で遊べない

熱中症、遊具が**高温**になって遊べない

(最高気温) 6月 **31°C** 7月 **35°C** 8月 **35°C** 9月 **30°C**



夏でも涼しい室内で遊びたいな！

50

地区の体育館

バスケットボール、バレーボールなどのスポーツは可能だが、小学生たちがする遊びは**厳しい**(鬼ごっこ、遊具を使ったかくれんぼなど)

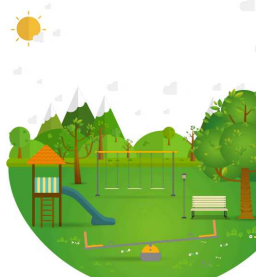
使用手続きをする必要があり、自由度に欠ける

53

現状

～松本市で遊べるところ～

- アルプス公園
- スカイパーク
- 庄内公園
- 芳川公園
- その他の中、小規模の公園
- 各地域にある地区体育館



その他屋外公園

市内にたくさんあるけど屋外だから**暑い**

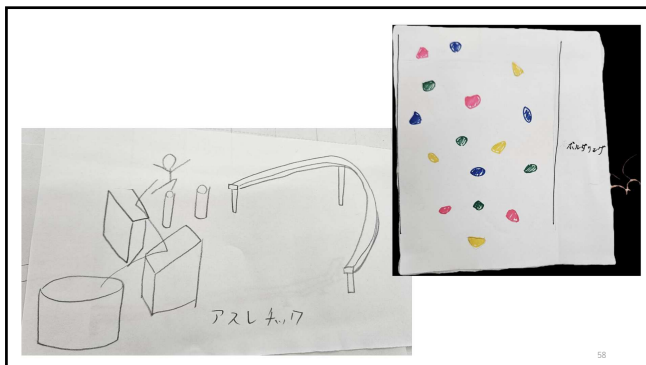
ボール遊びが**できない**ところもある

トイレが**汚い**ところがある

54

だから、こんな公園が欲しい！

55

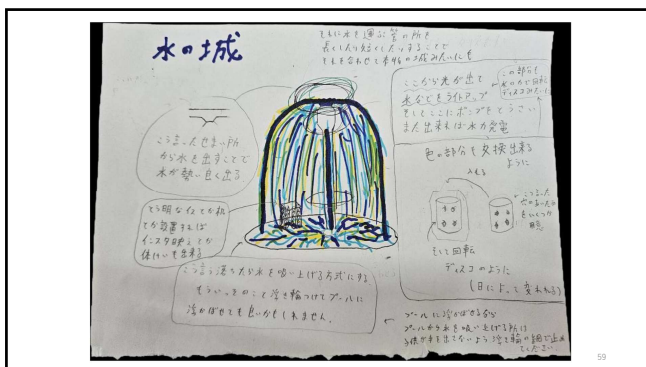


58

欲しい公園！

- 室内にある公園
- 冷房があって夏でも涼しい！
- 熱中症にならない
- 幼児でも小学生でも過ごせる
- 家から行きやすい
- 遊具が熱くならない

56



59

絵で描いてみました！



▲自動販売機

◀室内にある遊具

57

実際の例

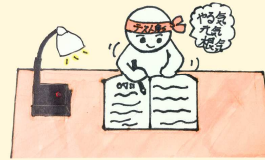


西広島タイムス
<https://nh-times.jp/post-23670/>
 【1日市市大野】大型の室内遊具が魅力！フジタスクエアまるくる大野の「大野子育て支援センター」2025/09/28最終開館

青少年の居場所 についての提言

61

現状



静かな雰囲気
⇒ 話せる雰囲気ではない

要望



他に部屋を作って「話せる部屋」と「静かにする部屋」を区別する

64

居場所づくり

みんなが快適に過ごせる場所はどこだろうか？

① どのような居場所にしたいか



62

要望

自分の家以外で友達同士で
集まる場所が欲しい！

教育的な漫画やお菓子を置く

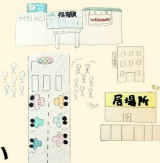


65

居場所づくり

みんなが快適に過ごせる場所はどこだろうか？

② どこに居場所を作りたいか



私たちが居場所づくりをするのは難しい
⇒ 今ある居場所の課題や改善点をまとめる

63

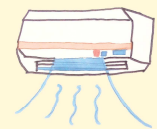
現状

我が社の文化会館



冷房がない
⇒ 快適に利用できない

要望



ポータブルクーラーの設置

66

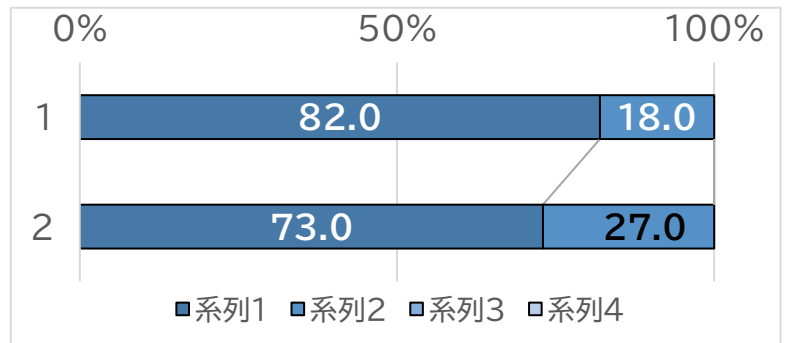
<p>現状 <small>あがたの森文化会館</small></p>  <p>受付が必要 ⇒ 面倒くさい</p>	<p>要望</p>  <p>対面からタブレットやQRコードへ</p>
--	--

<p>まとめ</p> <p>現状</p> <p>静かな雰囲気⇒話せる雰囲気ではない</p> <p>冷房がない⇒快適に利用できない</p> <p>受付が必要⇒面倒くさい</p>	<p>要望</p> <p>他に部屋を作って「話せる部屋」と「静かにする部屋」を区別する 漫画や安価で買えるお菓子を置く</p> <p>ポータブルクーラーの設置</p> <p>対面からタブレットやQRコードへ</p>
---	--

未来委員アンケート

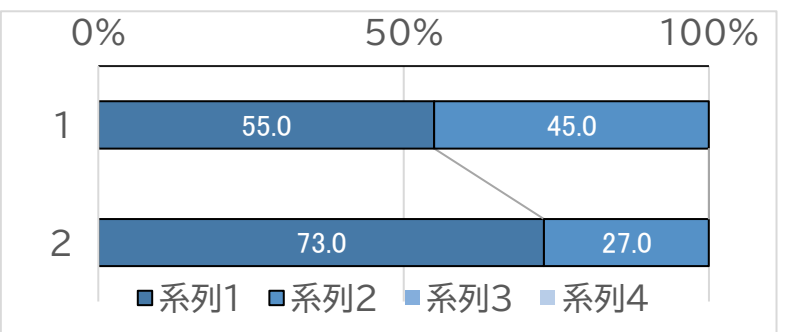
委員会の感想

	初回(%)	最終回(%)
楽しかった	82.0	73.0
まあまあ楽しかった	18.0	27.0
あまり楽しなかった	0.0	0.0
楽しなかった	0.0	0.0
合計	100.0	100.0



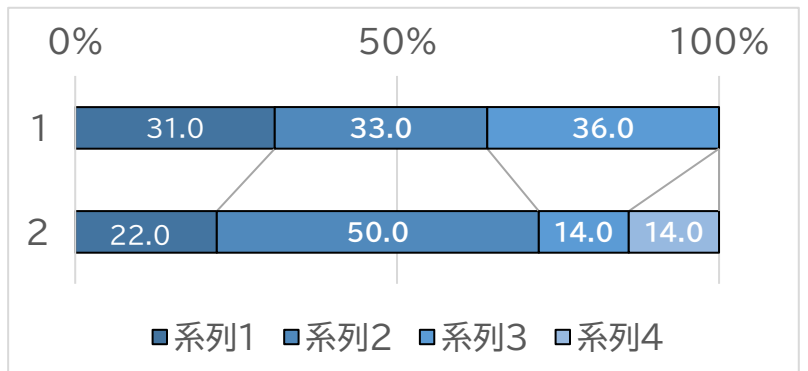
松本への興味・関心

	初回(%)	最終回(%)
ある	55.0	73.0
少しある	45.0	27.0
あまりない	3.0	0.0
ない	3.0	0.0
合計	100.0	100.0



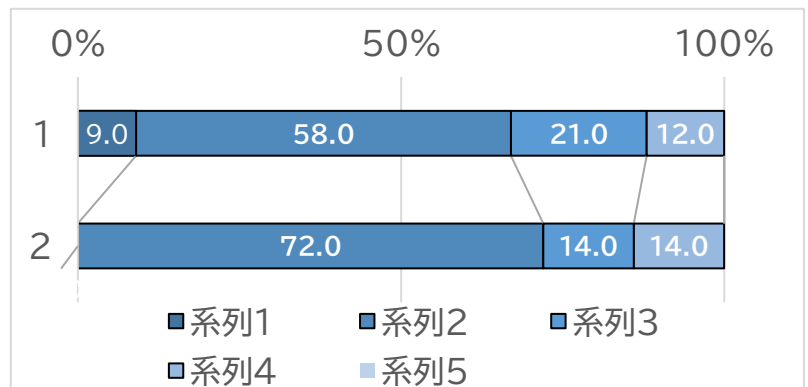
人前で意見を言うことを恥ずかしいと思うか

	初回(%)	最終回(%)
思う	31.0	22.0
ときどき思う	33.0	50.0
あまり思わない	36.0	14.0
思わない	0.0	14.0
合計	100.0	100.0



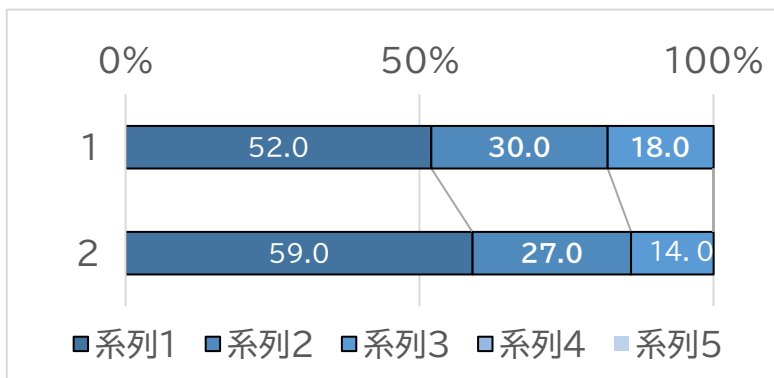
自分の言いたいことを言えないことがあるか

	初回(%)	最終回(%)
よくある	9.0	0.0
時々ある	58.0	72.0
あまりない	21.0	14.0
ない	12.0	14.0
無回答	0.0	0.0
合計	100.0	100.0



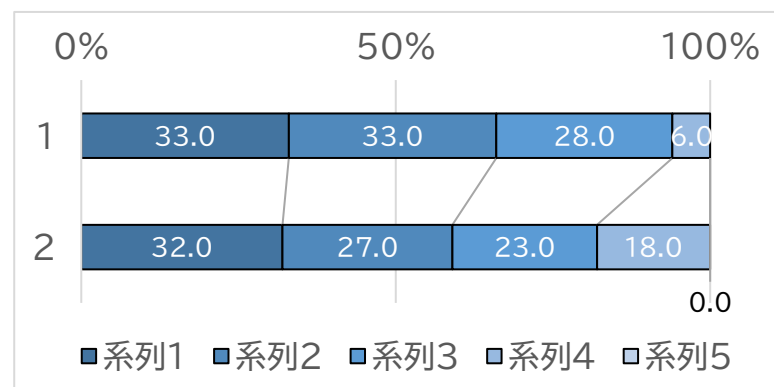
家庭で自分の意見を言うことがあるか

	初回(%)	最終回 (%)
よくある	52.0	59.0
時々ある	30.0	27.0
あまりない	18.0	14.0
ない	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0
合計	100.0	100.0



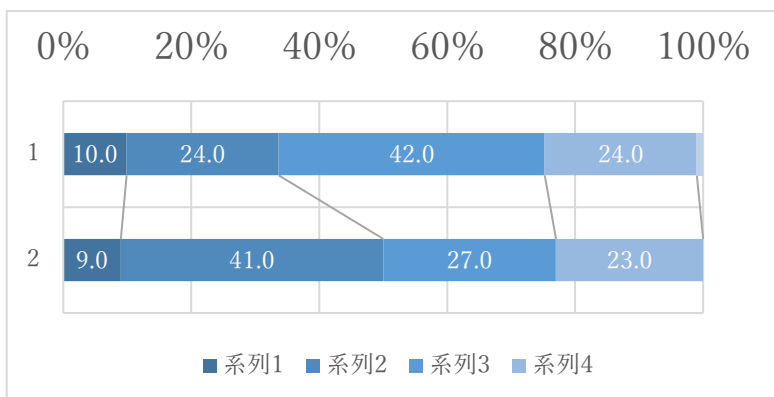
学校で自分の意見を言うことがあるか

	初回(%)	最終回 (%)
よくある	33.0	32.0
時々ある	33.0	27.0
あまりない	28.0	23.0
ない	6.0	18.0
無回答	0.0	0.0
合計	100.0	100.0



地区で自分の意見を言うことがあるか

	初回(%)	最終回 (%)
よくある	10.0	9.0
時々ある	24.0	41.0
あまりない	42.0	27.0
ない	24.0	23.0
無回答	0.0	0.0
合計	100.0	100.0



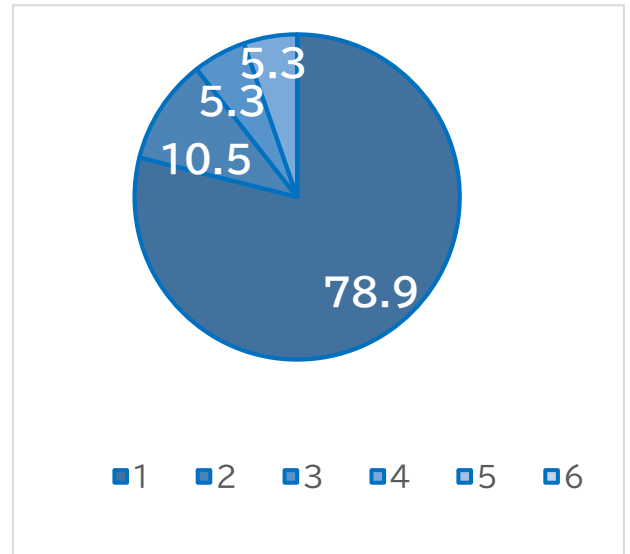
要望・感想

- ・市への提言が緊張感があり、楽しかったです。
- ・学年も学校も違う様々な人と話せて、人によってこんなにも考えていることが違うんだと感じることができました。松本についても知らなかったことを自分たちで追求でき、充実した時間でした。
- ・各グループの話し合いでは、それぞれの色々な意見を出し合えて楽しかったです。
- ・市内見学で松本で行ったことのない上高地に行けて新鮮でした。ですが、自分の意見がうまく通らず悔しい思いをしたため、来年こそは提言できたらいいと思います。
- ・いろいろな学年 学校の人と協力しながら、進めていくことが楽しかった。
- ・小中高生から見た松本市の課題とその解決方法を自分達が主体となって考えていくのが楽しかった。松本市の少子高齢化が徐々に大きくなっているのので、大人達に任せすぎず子供達でも考える機会があり良かったと思った。

保護者アンケート

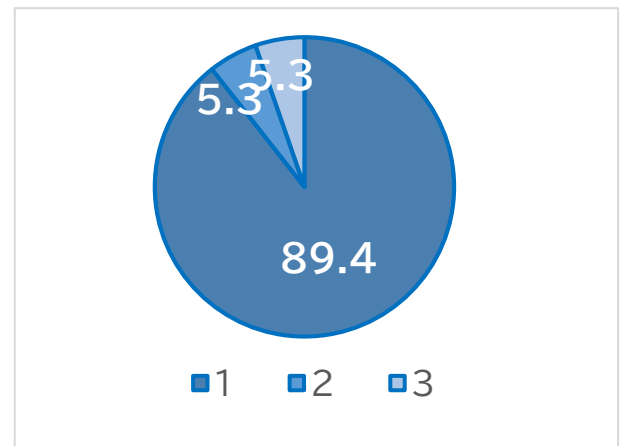
日程について

	人数	割合(%)
現状で良い	15	78.9
日曜日の午前が良い	2	10.5
土曜日の午前が良い	1	5.3
土曜日の午後が良い	1	5.3
いつでも良い	0	0
その他	0	0
合 計	19	100



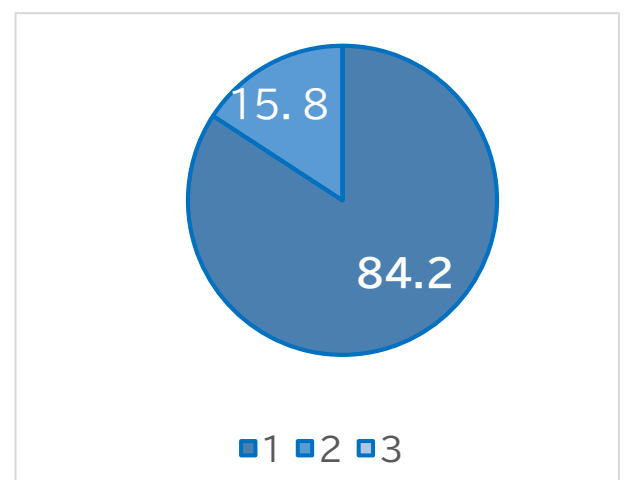
回数について

	人数	割合(%)
現状で良い	17	89.4
増やした方が良い	1	5.3
減らした方が良い	1	5.3
合 計	19	100



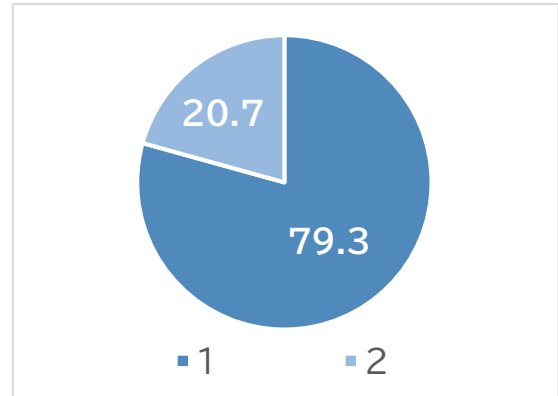
開催場所について

	人数	割合(%)
現状で良い	16	84.2
他の場所が良い	3	15.8
その他	0	0
合 計	19	100



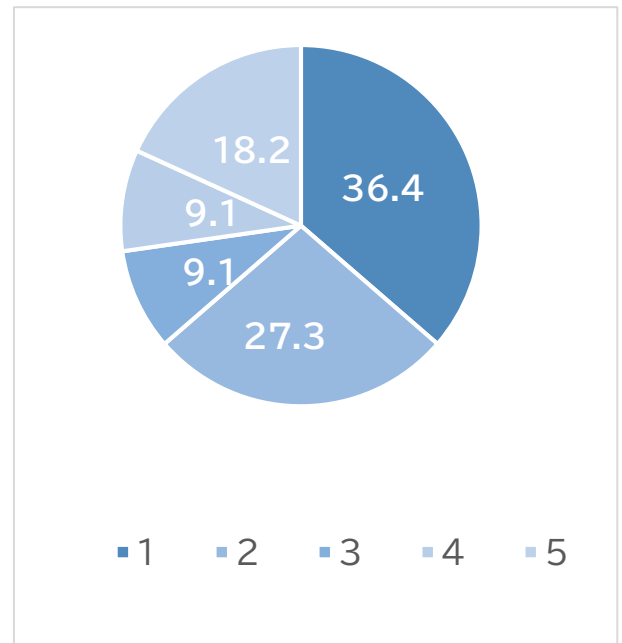
子どもに変化があったか

	人数	割合(%)
あった	13	68.4
特になかった	6	31.6
合計	19	100



変化の内容(複数回答)

	人数	割合(%)
松本に興味・関心を持つようになった	12	36.4
人前で発言することに慣れた	9	27.3
学校行事等に積極的・自発的になった	3	9.1
家庭での会話が増えた	3	9.1
無回答	6	18.2
合計	33	100.0





まつもと子ども未来委員会のマークに子どもたちが込めた思い

- ① 松本を大切にしたい（手の中に松本市）
- ② 笑顔でいっぱいになりたい
- ③ 松本の自然（山・太陽）を描きました